

平成23年度 国有林モニターアンケート 結果概要

九州森林管理局では、「開かれた国有林」にふさわしい管理経営を行うことを目的として、国有林モニター制度を設けています。

このたび、国有林モニターの皆様から森林・林業や国有林野事業に関する関心事項、ご意見、ご要望を伺うため、平成23年6月に国有林モニターアンケートを実施し、64人中58人の方に回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

以下にアンケートの結果を報告いたします。なお、自由意見は抜粋して掲載しております。

質問項目

国有林野事業の取組について

国際森林年について

その他

国有林野事業の取組について

問1 国有林モニターに応募される以前、国有林に対してどのようなイメージをお持ちでしたか。

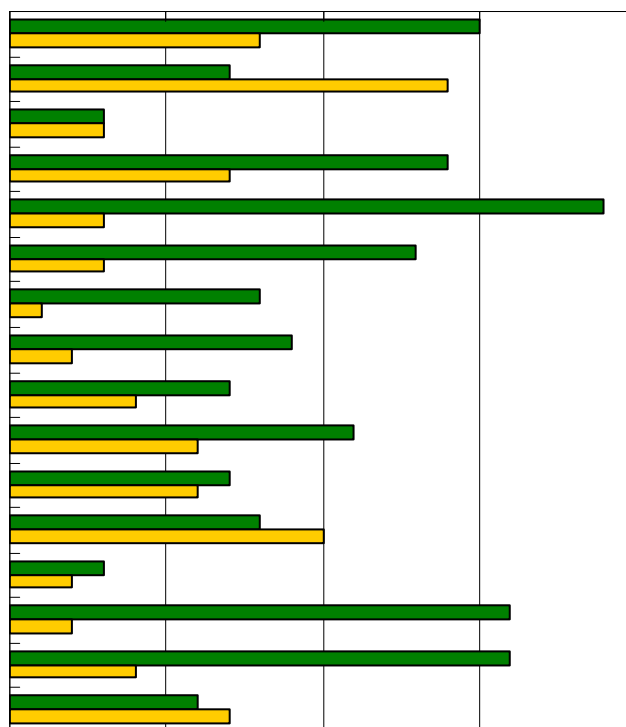
- ・国の海岸線を守り、緑のオアシスを提供している
- ・他の山林より良く手入れされており、良好に生育している
- ・各県・市町村林、各組合林、民有林等の模範となっている
- ・動植物の保護など自然環境を保持するのに必要不可欠なもの。自然豊かな照葉樹林が多い
- ・山紫水明の豊かな日本国土の基礎を築いている
- ・国土の保全、防風林の管理、計画的に植林・伐採・販売し収益を上げる
- ・下流の町や村を水害などから守ってくれているという良いイメージ
- ・いつも整備され、市民に森林浴、植樹祭、レクリエーション等のため開放されている
- ・霧島など、登山道等の整備がよくされていることに感謝していた
- ・広大な国有林をもっとPRして活用できる手段があればと思っていた
- ・近寄りがたいイメージ。普通の人からすると別世界であり手の届かないところ
- ・面積や事業内容、収支、果たす役割、管理体制等がわからない。国民に対してどのような影響を及ぼしているか、どんな貢献をしているか実感できない
- ・単に国が「所有し管理している森林」という読んで字の如くのイメージ
- ・杉林ばかりで手入れは不十分。経営的にも抜本改革が必要と推察していた
- ・赤字で管理が徹底されていない
- ・国のものということで、規制が非常に厳しく一般国民が身近に接することができないところ。自由に立ち入りができない
- ・昔は針葉樹の伐採が盛んで、国策とはいえ国有林の将来に疑問をもっていた。間伐に力を入れ、長伐期の国産材の安定供給に努めてほしい。
- ・森林管理署の仕事が目につかない、場所すら知らない
- ・あまり深く考えたことがない

問2 - 1 九州森林管理局が今年度に重点的に取り組むこととしている事項について、興味がある又は内容を詳しく知りたい事項、内容がよくわからなかった事項をご記入下さい。(複数選択式)

(重点取組事項一覧)

■ 興味がある又は内容を詳しく知りたい
 ■ 内容がよくわからなかった (回答数)

- 民有林・国有林の森林共同施業団地の設定
- 准フォレスター等人材育成の推進
- 新たな路網整備の推進
- 低コスト造林の確立に向けた取組
- 国産材の安定供給確立に向けた取組
- 森林・林業、山村への脅威「シカ被害」への取組
- 屋久島世界遺産地域の保全管理
- 森林生態系等の保護・保全の推進
- 希少な野生動物の保護管理
- 安全・安心の確保に向けた効果的な治山事業の展開
- 新燃岳噴火対策の推進
- 森林・林業への普及・啓発活動の推進
- 国際森林年記念「国際照葉樹林サミット in 綾」の開催
- 森林の癒やし効果や優れた景観等の情報の発信
- 子供達への森林環境教育の推進
- 消費者と森林とを結ぶ間伐紙の取組



問2 - 2 重点取組事項について、ご意見等ございましたらご記入ください。

民有林・国有林の森林共同施業団地の設定

- ・民有林、国有林の連携を強固にし、計画を早く実行することが大切
- ・水資源機構、大面積、小面積の所有者の施業団地の設定について個人所有者についての理解は容易ではないと思う
- ・路網の整備や効率的間伐等の推進が具体的にどう進められるかが今1つ見えてこない

准フォレスター等人材育成の推進

- ・カタカナ語、漢字連続用語、行政用語を一工夫して小学生でも読めるものにする

新たな路網整備の推進 (意見なし)

低コスト造林の確立に向けた取組

- ・林業家は木材の需要が低迷しており低コストでも造林するのは困難。放置山林減少の取り組みが重要

国産材の安定供給確立に向けた取組

- ・国有林経営での最大課題は、「財務改革」と拝察。各論を述べる前に『「森林・林業再生プラン」の実現』の処でもっと基本課題についてアピールすべき
- ・東日本震災に国産材を使った仮設住宅が使われたが、国産杉は優れている、癒されるとのこと。もっと住宅メーカーに使用してもらってはどうか。
- ・高温多湿の南九州の土地に適した木造建築の良さをもっとアピールしてほしい。新建材等を使用した家造りをやめ、ログハウス等をもっと推進してほしい

問2 - 2 重点取組事項について、ご意見等ございましたらご記入ください。(前ページの続き)

森林・林業、山村への脅威「シカ被害」への取組

- ・シカ、猪等の鳥獣害に日々頭を悩ませており、個々人でできる有効な駆除法を詳しく知りたい
- ・人家まで出没して高齢者が嘆いている。シカ対策は市町村と連携してもっと具体的に取組み、猟友会や食肉業者等と連携して資源として総合的に考えて欲しい
- ・シカのみならず、サル・イノシシの被害対策にももう少し力を入れてほしい
- ・動物と自然が共存していくための方策をよく考えてほしい

屋久島世界遺産地域の保全管理

- ・屋久島の自然を守る取組みについて国を挙げてもっとアピールしていくべき

森林生態系等の保護・保全の推進 (意見なし)

希少な野生動物の保護管理

- ・さらに山林と野生動物及び魚等が共存できるような環境づくりを実施してほしい

安全・安心の確保に向けた効果的な治山事業の展開

- ・土砂災害にそなえてより効果的な森林づくり(植樹)に向けて検討・実施してほしい
- ・土石流への対策強化

新燃岳噴火対策の推進

- ・新燃岳のその後の対策何が必要なのか、どう取り組むのかを明確にしてほしい

森林・林業への普及・啓発活動の推進

- ・一般市民へのPR不足。メディアの有効利用を考えてほしい
- ・県が行うイベント、植樹大会などに参加してきたが、費用(税)対効果が少なく行政の一方通行が多い。税は間伐など直接投資すべき
- ・特定の地域の国有林を重点として取り組むよりも、身近にあるすべての国有林について歩きやすくすべき

国際森林年記念「国際照葉樹林サミットin 綾」の開催 (意見なし)

森林の癒やし効果や優れた景観等の情報の発信

- ・手軽に散策できるウォーキングコースなども紹介してほしい
- ・森林の優れた効果等をマスコミ・旅行会社等を使いもっとPRすべき
- ・現代のストレス社会の中で森に入ってリフレッシュすることは必要

子供達への森林環境教育の推進

- ・出前授業は気軽に応じてもらえるのか
- ・森林の重要性、自然環境に親しめるように小学校の導入教育として実施すべき

消費者と森林とを結ぶ間伐紙の取組 (意見なし)

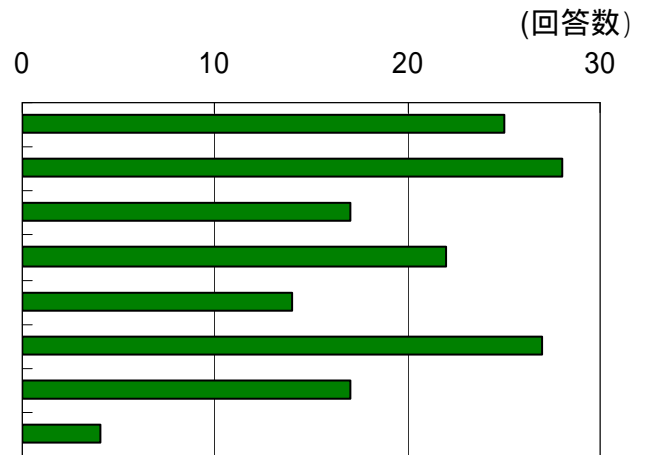
問3 九州の国有林について、今後知りたいことは何ですか。(複数選択式)

(選択肢)

- 国有林で行っている具体的な事業の内容
- 森林・林業関係のイベントの案内
- 国有林の木材の販売に関すること
- 身近な山の紹介や登山道の情報
- 国有林に関する自然動植物の情報
- 身近にある特別な森林の場所などの情報
- 国有林の経営方針や計画に関すること
- その他

その他の内容

- ・保安林について
- ・高付加価値のある木材利用法
- ・国有林野内の不要施設の撤去について



まとめ

国有林に対するイメージについては、「自然環境が豊か」「日本の国土の基礎を築いている」「植樹祭やレクリエーションなどに開放されている、身近な森林」などの意見があり、概ね良いイメージをお持ちの方が多数いらっしゃいました。

一方で、「近寄りやすい」「身近に接することができず、遠い存在」という意見、また国有林の果たすべき役割や管理体制、事業内容などがわからないという意見も多く寄せられました。

また、国有林の実状については、良く整備されていると感じる方がいる一方で、手入れが不十分と感じる方もいらっしゃいました。

今年度の国有林野事業の重点取組事項について、各項目に対してそれぞれ反応があり、森林の管理経営に対する幅広い期待が伺える結果となりました。

大きな関心が寄せられたのは、「森林共同施業団地の設定」「低コスト造林」「国産材の安定供給」など、林業の再生に係る重要課題について、及び「森林情報の発信」「森林環境教育」など、実際に森林に触れ合う活動についてなどでした。

一方、よくわからなかった事項には「森林共同施業団地」「准フォレスター」などが挙げられており、一般に耳慣れない言葉が使用されていること等によるものと推測されます。

また、各項目に対して、森林に関する具体的な情報提供と積極的なPR等について多くの意見をいただきました。

九州の国有林については、「イベントの案内」「身近にある森林の情報」「具体的な事業内容」の順で関心が高く、上記重点事項と同じく森林とのふれあい活動についての情報が求められていました。

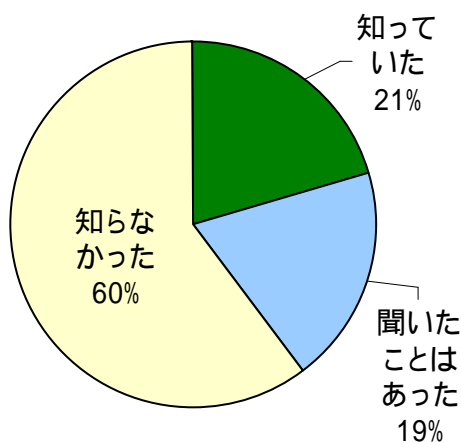
以上の皆様から頂いた意見を踏まえ、今後も引き続きイベントの案内や森林に関する情報等の発信に力を入れ、国有林野事業についてより広く正確に伝えることに努めて参ります。

国際森林年について

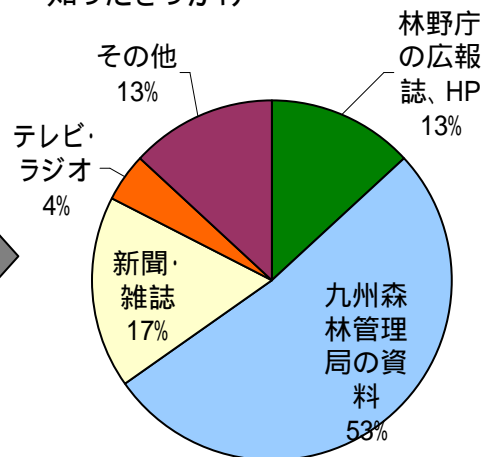
問1 「国際森林年」の目的や取組をアンケートの以前からご存じでしたか。

問2 「国際森林年」について何で知りましたか。

・「国際森林年」を知っていたか



・知ったきっかけ



問3 「国際森林年」についてもっとPRすべき点や、PRする方法等についてご意見がございましたらご記入下さい。

広報手段について

- 一般市民は全く知らず、知る機会もない
- パンフレットや地元県市町村の広報などを通じてPRすべき
- TV、ラジオ、インターネット等の活用やイベントの企画
- 植樹活動等を活発に行っている企業を通じて、HPを紹介するなどPRしてはどうか
- 学校教育を担う教師等の啓発を図り、子供を通じて広くこの意義を徹底できるようにする
- 地方林務行政担当職員はあまり知らないのが現実。国が県市町村、森林組合等を通じて、地方の末端までPRすることが良策
- 林野行政分野に広報の専門家を入れるべき。「マーケット・リサーチ」が不足して居る様に思う頻度多く情報を流して関心の持続を図る事
- 新聞、雑誌等でのPR不足
- 国、県市町村、森林組合などの流れを利用し、その地方にあったやり方でPR。また、農協、高校中学等の教育機関なども利用

広報内容について

- 子供たちに植樹だけでなく手入れの大切さも訴えるため、過去に植樹されたものを手入れすることも大切
- 各県単位のイベントを企画
- 誰でも参加しやすい方法を重点的にPRしてほしい
- 堅いイメージの印象を与える。初心者を中心に据えたPRが良い
- テーマ「森を歩く」具体策として、モデルコースを選定し国民、特に近隣県民(九州管内)に提案してはどうか
- 森林の役割や人と社会と森林の関係など、身近で具体的な事例を紹介することが大事

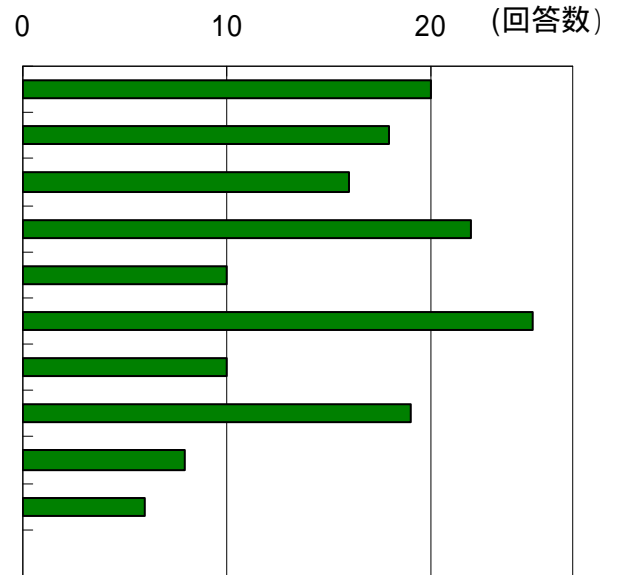
問4 「国際森林年」を記念して各地で様々な催し物が開催されていますが、どのような内容のイベントに参加してみたいですか。(複数選択式)

(選択肢)

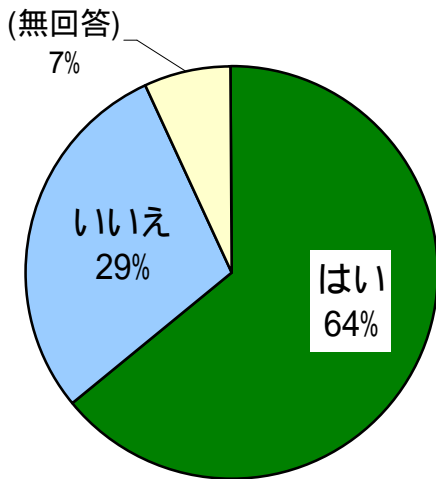
- 森林・林業に関するセミナー、シンポジウム
- 植樹祭・育樹祭
- 下刈りや保育間伐等の森林づくりボランティア活動
- 森林散策会や自然観察会
- 木工教室や森林教室
- 林業や治山工事等の現地見学会
- 森林の清掃活動
- 森林浴等の保健休養
- 森林に関する作品の展示会・コンクール・音楽会など
- その他
- 参加したくない

その他の内容

- ・育林中または完成した造林地の見学
- ・鳥獣被害地の実地検証
- ・里山の管理に関する事項
- ・先駆取組地域や森林組合等の視察
- ・木材資源の活用に関する現地見学



問5 「国際森林年」の国内テーマは「森を歩く」ですが、この1年間で森林(山)を訪れたことがありますか。



・具体的な場所

- 九州内山
- ・高良山(久留米市)
 - ・白岳(江迎町)
 - ・阿蘇五岳(阿蘇市)
 - ・立田山(熊本市)
 - ・白髪岳(あさぎり町)
 - ・市房山(水上村、椎葉村、西米良村)
 - ・由布岳(由布市)
 - ・祖母・傾山系
 - ・久住山系
 - ・高千穂
 - ・諸塚山(諸塚村)
 - ・霧島山系
 - ・国見山系
 - ・開門岳(指宿市)
 - ・田之上岳(南九州市)
 - ・矢筈岳
 - ・高隅山

施設等

- ・演習林
- ・菊池溪谷
- ・綾照葉樹林
- ・森林公園
- ・県民の森
- ・自然遊歩道
- ・所有山林

九州外山

- ・石鎚山
- ・南アルプス山系
- ・伊豆天城山系
- ・松阪山

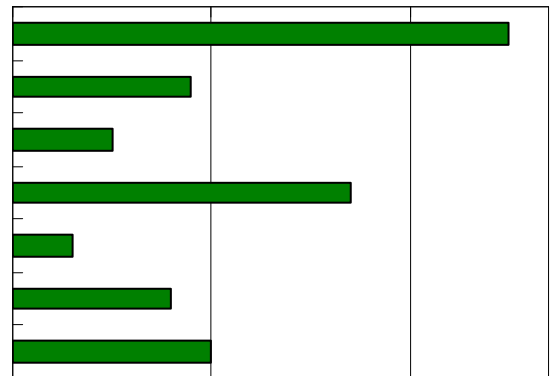
問6 (「問5」で「はい」にご回答された方のみ)どんな目的で森林を訪れましたか。(複数選択式)

(選択肢)

登山、ハイキングなど
 植樹祭・育樹祭
 下刈りや保育間伐等の森林づくりボランティア活動
 植物や野生動物などの自然観察
 森林内でのレクリエーション
 森林浴等の保健休養
 その他

その他の内容
 ・運動のため ・山菜採り、栗拾い ・イベント
 ・造林地の踏破 ・所有林の手入れ

0 10 20 (回答数)



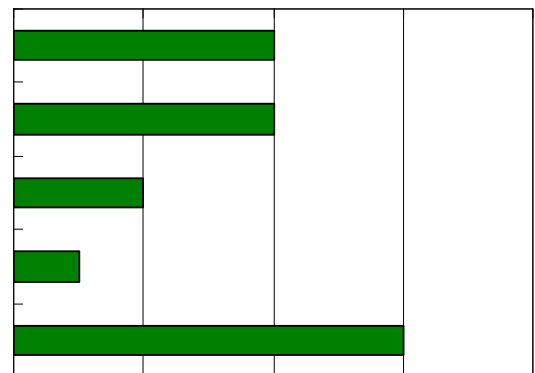
問7 (「問5」で「いいえ」にご回答された方のみ)それはなぜですか。

(選択肢)

どこに行けばいいのかわからなかった
 時間がとれなかった
 一緒に活動できる人がいなかった
 行きたいと思わなかった
 その他

その他の内容
 ・行事を知らなかった ・膝の故障のため
 ・体力に自信がない

0 2 4 6 8 (回答数)



まとめ

国際森林年については、全体の6割が「知らなかった」との回答であり、「知っている」と答えた方も半分以上がモニターになってから局等の資料で知ったとのことで、全体的なPRが不足しているという状況です。広報手段については様々なアイデアを頂きましたが、特にマスメディアの活用と、地域の広報誌や学校などの身近な施設を通しての広報活動が有効とのご意見が目立ちました。

また、広報内容については、「誰でも参加しやすい」「具体的な」情報が求められています。参加したいイベントとの内容は「現地見学会」「森林散策会や自然観察会」など、実際に現地に行つて森林・林業の働きをみれるものに人気が集まっています。今後とも誰でも参加できるよう工夫しながらイベントを企画し、情報を発信していくことに努めていきます。

森林との関わりについては、登山や自然観察などを目的に山などを訪れている方は6割以上と多く、モニターの皆様が普段から森林に関心が高いことがわかります。一方でどこに行けばいいかわからない、体力的な不安があるなどの理由から森林を訪れていない方もおり、今後とも気軽に山を訪れるために役立つ情報の提供や施設の整備に努めていきます。

その他

問1 毎月お送りしている九州森林管理局の広報誌「広報九州」をご覧になって、改善すべき点などご意見がございましたらご記入ください。

- 読む人に対して理解させようとしている意志で作成されており素晴らしい
- 自署の名山を毎月楽しみにしている ・詳細な記事でわかりやすい
- 読者のページなどを入れてもっと親しみやすくしてはどうか
- もっと色々な方の声があるといい
- 自署の名山は、交通アクセスなどの情報があった方がよい
- 地元の記事が掲載されていると眼が行く。九州各県のコーナーを設けてほしい
- 一般の人にとっても参考になる内容が豊富に入ってるので、一般の人にも見れるようにしてほしい。HPだけでは不十分
- 字が小さく読みづらいのもう少し大きくしてほしい
- 冊子に穴が空けられていると保管に便利
- 国有林の資源活用や限界集落の民有林の取組の具体的内容が知りたい
- 人事異動の部分は簡単にしてどこからどこへ異動になっただけでいい
- 民有林で、管理・保全のモデル的所有者や現場の紹介があれば参考にしたい
- 広報すべき対象を考えては、局内部及び関係役所・企業向けの号、学校での利用のための号、国有林周辺住民への号、都市住民への号というように月にターゲットを換えて発行することで、必要・不必要な記事を選定できると思う
- 林業関係者を対象とした編集内容のように感じられ、記事がかたくて面白い部分が少ない。樹木の特徴の紹介や各地の生態系など国民的興味・関心をベースにした内容を増やすべき
- 読んでもらう対象は誰なのか。一般大衆が対象なら人の動き欄は全面カットすべき
- 現場で働く人の声やイベントに参加した人の声が記載してほしい
- 写真を増やしてほしい ・林業経営上の記事がほしい。植林費用や保育費など
- 竹山も荒れているので、竹山の再生・リサイクルや利用方法の紹介を
- 一般の方々が見る機会があるのか疑問。活動紹介が長い
- お役所のPRに過ぎない記事が多い

問2 今回お伺いしたことを含め、森林・林業や国有林野事業等についてご意見、ご要望がございましたら自由にご記入ください。

森林・林業について

- もっと九州の森林を歩いて見てみたい
- 治水事業と併せて総合的に森林事業を考えてほしい
- 森林の役割、漁業に及ぼす影響等についてもっと全国にPRすべき
- 森林・林業の根幹をもっと学校で教育して、幼児の頃からその重要性を理解させ責任を負わせることが必要。小中高の参加を勧める
- 県との分収契約では不適地にヒノキを植林し生育不良箇所がみられる。国の政策にあたって局(現場)の意見が通るよう努力を
- 深刻な山林の荒廃に対する具体策を、雇用対策も兼ねて市町村と組んで実働部隊を組織し日常的に取組んでほしい
- 森を守る一環として、フリーペーパーやチラシの規制はできないのか
- 民間企業やNPO、個人等に森林の委託管理を積極的に進め、市民の憩いの森として、開拓・開放させる施策を進めてほしい
- 国産材を安く提供できる方策(間伐の補助金等の支給)に国が取り組むべきではないか
- 災害復興・復旧に木のぬくもりや温かさが評価され材料として活用されつつあるニュースをみると嬉しくなる。きっと森林・林業が再び脚光を浴びる日がくる
- 全国区のPRは予算的制約で限界があるのでは。地方公共団体等の発行する広報誌(市民報など)を利用する工夫をしてはどうか
- 竹林や除間伐の木を薪ストーブに利用するなど化石燃料を使わない取組を紹介して

(次ページへ続く)

問2 今回お伺いしたことを含め、森林・林業や国有林野事業等についてご意見、ご要望がございましたら自由にご記入ください。(前ページの続き)

国有林野事業について

- 事業内容や方法、その結果など、事業は身近に感じることが少ないためもっと国民にPRすべき。発信力が弱い
- 各営林署での地元で立脚した活動で地元民を巻き込んで地道にPRを。特に中高生の林業体験活動は有効
- 国有林を通してさまざまな事業を展開している局のご努力により日本の森林並びに自然体系が守られていると初めて知った。「国際森林年」での各地でのイベントにより一般の人にその内容が伝わる事を願う
- 「～事業」なら採算性が最重要だが、「国家百年の計」の為に、国民の税金で負担し、「林野行政の採算性の外」に置くべきとの国民の賛同を得る分野もかなりあり、戦略的な説得策が必要。数十年前のような『再生可能有機資源活用』の時代に戻りつつあり、世界に展開できる日本の知恵と資源を活用していくべき
- 国有林立ち入りについて、気軽に訪問できるような案内や方策が企画できたら良い
- きれいな空気と一面の緑に心癒される森林に廃屋やゴミがあるとがっかりする。国有林を守る大切な事業として早く対策をとってほしい
- 経営としての林業と国有林の国民的活用とは目的が違うのだからそれぞれの目的をはっきりさせて、別々に目的を追求した方が良いと思う
- 国有林の管理、利用等の状況をわかりやすく説明する機会等を設定し、民有林の保護管理に所有者が力をいれていくよう啓発を
- 国有林内への観光客に対するマナー啓発をしっかりとしてほしい。木を伐りすぎているのでは。
- 局内に森林PR課を設置して各県の地域に根ざした木材等の利用を支援し、木材消費ニーズを把握して新商品開発や販路開拓につなげ、木材需要拡大に役立ててほしい
- 所有林は値が下がる一方で、民有林事業は破産状態。森林総合事業も製材事業も軒並み縮小・破産している。民有林の計画的国有化への道はないのか
- 国の事業事務所は一般市民から見ると敷居が高い印象がある。市民が親しみやすい事業所づくりを
- 国民の貴重な財産であり、一人一人が関心をよせ大切にしていきたい
- 津波対策等として、国有林の海岸林造成に期待している

まとめ

広報誌については、概ね読みやすいとの感想が多かったところですが、「字が小さく読みづらい」「かたい印象」「広報する対象を考えるべき」とのご意見もあり、具体的に多くの改善策を提案していただきました。頂いたご意見は今後の誌面づくりの参考にさせていただきます。なお、活字の大きさについては来年度から改良することとしています。

国有林野事業や森林・林業についても、大変多くのご意見をいただきました。森林・林業についての重要性は理解しているが、あまり情報が伝わっておらず、他の問いと共通して「国有林野事業の内容や森林の役割等についてPR不足」とのご意見が多くありました。

頂いた意見の内容については今後検討するとともに、業務に役立てていくこととしています。

大変多くのご意見をいただき、ご協力誠にありがとうございました。